



RDAの3Rプロジェクトは今日と明日の学術情報基盤のために



RDA Toolkitの再構築と再設計（3R）プロジェクト

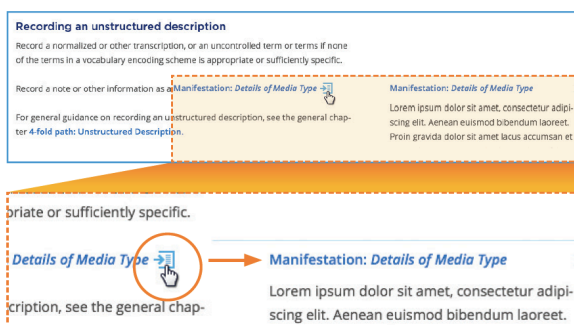
ユーザのニーズに合わせて、RDA Toolkitの新デザインがデビューします。
リニューアルしたRDA Toolkitは現在β版を提供しており、2018年後半は両方が使用可能です。

- ウェブの標準accessibility guidelinesに準拠
- タブレットでの利用の最適化
- 新しくRDAの一般的「Guidance」がまとめられ
- IFLA Library Reference Model (LRM) を初めて実現
- ローカルドキュメントを共有できるようにユーザツールを改善

◆使いやすさの向上◆

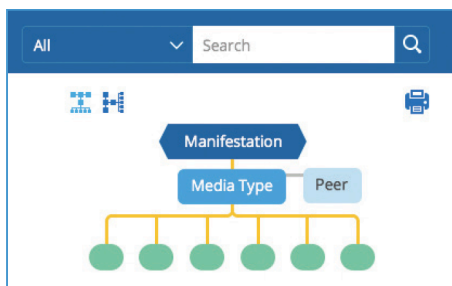
統合されたディスプレイ

新しいToolkitを使用すると、ユーザーは別の画面を確認する必要なく、関連するリンク内容が表示できます。



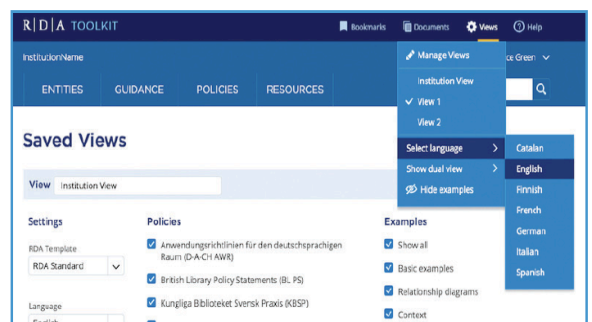
ナビゲーションと検索

グラフィカルブラウザで、RDAの構造と階層を表示します。
検索は簡略化され、環境設定が可能になりました。



強化されたプロフィールツール

ユーザは、Toolkitで個人用の設定を行うことができ、購読管理者は個人ごとのプロフィールやToolkitの設定を管理することができます。



RDAの構造

再設計されたToolkitはデータ中心の構造を採用しています。
解説は実体と要素によって編成されています。

Media Type

Definition

media type: A categorization reflecting the general type of internet content required to view, play, run, etc., the content of a manifestation.

Element Reference

Recording

Record a **media type** if considered important to identify and select

2010年のデビュー以来、RDAはメタデータ記述のグローバルスタンダードとして発展してきました。そして、2018年 RDA toolkitの再構築と再設計（3R）プロジェクトでさらに進化を続けています。

◆今日から明日へつなぐ橋◆

従来のRDA Toolkitも、3Rプロジェクト完了後1年間は、並行してアクセス可能です。新しいサイトの構造、ナビゲーション、および機能は、無料のオンラインRDA Toolkitトレーニング動画で紹介しています。

◆未来への展望◆

3Rプロジェクトが完成すると、RDAコンテンツを音楽用RDAや貴重資料用RDAなどのようにユニークに選択したフィルタ表示が可能になります。それらは、2019年中にご覧いただけるようになる予定です。

RDA TOOLKIT translates in the following languages.

SPANISH
ENGLISH
FRENCH
GERMAN
ITALIAN
FINNISH
CATALAN
NORWEGIAN

フレキシビリティ

RDAは、伝統的な手法で利用する図書館から、先駆的な新しい技術に至るまで、多くの異なる環境で作業している人々のためのデータ記録方法のガイドです。これは、図書館コミュニティによって設計されていますが、様々な文化機関のニーズに対応します。

国際化

RDAは60カ国以上で使用されており、広範かつ国際的な共通理解になっています。標準化に関心がある国であれば、どこでもRDAアウトリーチサービスは利用可能です。

Linked Dataに最適化

RDA toolkitとRDA レジストリは、Linked Data環境をサポートする仕組みです。そして標準RDA自体が、Linked Dataの仕組みを明示しています。

RDA Toolkitの 再構築と再設計 3Rプロジェクト ポイント



IFLA Library Reference Model (LRM) の実装

3Rプロジェクトは、FRBRとFRAD, FRASDを統合した新しいIFLAの実体関連モデルLRMに時宜をえたものです。

翻訳

3Rプロジェクトでは、異なる言語コミュニティのニーズにも速やかに対応する、新しいツールが実現します。

RDAコンテンツの再構成

3Rプロジェクトの一環として、RDAの説明は実体と要素に焦点をあて、データ辞書を使用して簡単に検索できるようになります。新しく「Guidance」として、概念とコンテキストがまとめられました。4つのタイプのデータ記録方法は、RDAを使用することによって、MARCや他の従来のフォーマットを越えるための基礎になるでしょう。

目録データの共有/ディスカバリー

標準化と国際化への取り組みは、用語やデータ要素などの整合性によって、目録データの互換性を促進します。そして、RDAは図書館と広範囲な文化的コレクションのメタデータソースを視野に入れて設計されています。

